

向、伊藤伸太郎、社大党の協同組合はあらゆる層を呑んだ廣範圍のものであると思つてゐるがこれと喰違ひはせぬか。

答、鈴木悦次郎、おれは他団体員或は層の加入を拒否するものではないが、そのへげモニーが問題になつてゐる。

向、へげモニーに拘泥すると消亡組合運動は狭められることにならぬか。

答、日消聯の起党派性は政治的なものであつて全労員がその中に入ることによつて非常な迷惑を蒙つたこともあり、それを心配して全労独自の消費組合運動を押し進めることにした意、天満芥太郎、二つで問題となるのはその実行の基工の具体案をつくることであると思ふ。

意、福島玄、社大党のそれと協同すると云ふことでよいではないか、当面購買部、消亡組合の運動に力を注ぎ、協同組合運動に対する調査、研究、並に方針の樹立等は新中央委員

会に任してはどうか。

續向、討論部打切り、前掲決議を可決す。

向、伊藤伸太郎、団体協約は労資協同主義であると考えられてゐるから意見を聞きたい。

意、伊藤伸太郎、団体協約をしない組合は左翼だと言ふことは困難だ。左翼でもその必要を認めてゐる。

意、日本では今日まで右翼にてなされておいたのに右翼政策だと考へられると言つただけだ。

(一)

意、福島玄、資本家は階級的、大衆的組合としての全労と協同を結ぶことが問題であり、先づこれを考へねばならぬ。協同のためには締結でなければならぬ。

意、磯立三、力の向題は勿論だが常にこの向題を掲げてもヨウに戦ふかどうかの眼を

決めておく必要がある。又参考のために一歩付け加へるがこれはコミンタールの定義に

記憶するが左翼の団体協約の方針はその期間短く、右翼のそれは永いと言ふ、大体に

於てそれだけの相違だけだと言つてゐる。

意、岡本悦次郎、組織問題を慎重に考へることは、運動に反対するものはないと思ふが

殊に組織率の低い日本に於ては充分に考慮せねばならぬ。団体協約を締結しても意識の

高揚は充分にはかゝれると言ふ確信は持つてゐる。

意、桑川忠雄、最近の工業クラス、全産聯の方針は労資自身自身の組合となれば、總同盟の

如きものも団体協約を拒否してゐる。

意、二のとき労協組合は団体協約をむすんで組織の格闘と本組織の力づくに向つて進

まねばならぬ。

討論部打切り、前掲決議を作成可決す。

関西事務局の活動に關して、従来之事務局の活動にリツガヒその組織を改めたらどうか。

意、岡大西リツ平、大阪聯合会にも一度相談することに決定。

以上。